



輝け！藤中生

第1号

校長室だより

令和7年5月15日

藤井寺市立藤井寺中学校
校長 西村 光世

新学期がスタートして一か月余りがたちました。

一年生は宿泊行事を無事終え、今日から中間テストが始まっています。どの学年も、落ち着いたスタートが切れています。

さて、各学年、学級がたくさんの通信を出していますが、学校全体のことや保護者の方に向けておいていただきたいこと、また生徒・教員の頑張りをお伝えしたいという思いもあり、不定期ではありますが「輝け！藤中生 校長室だより」として保護者・地域のみなさまに、このお便りを発信したいと思っております。

本校の教育方針、学校教育目標などは、ホームページの学校概要に掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

一年間、よろしく
お願いいたします。



中学生が巻き込まれるトラブルについて

先日、中学校と警察署などの関係機関で開催している協議会がありました。その協議会は、警察署や教育委員会、少年サポートセンターなど学校に関係する機関の方と学校が情報交換をする会議です。警察の方からは、高校生が大麻の売買、バイクの窃盗、未成年の喫煙等で補導されているケースが多いという報告がありました。また、少年補導員の方からは中学生がSNSの被害に巻き込まれているという情報や、補導された少年の約半数が中学生だったこと、また大麻の売買にも中学生がかかわっていることなども報告されました。十四歳未満の、いわゆる「触法少年」と呼ばれる子どもたちの犯罪がこの三年間で倍増しているという情報も共有されました。

情報交換の中で話題になったものの一つが、SNSのトラブルについてです。他校で実際に起きている事実としては、自分で撮った画像をLINEなどにあげたものが、知らない間にライングループで拡散し、それを知って学校に行きにくくなってい

る事例や、オープンチャットで知り合った男性と実際に会って被害にあった事例等、各学校でその対応に苦慮されていることを聞きました。

本校では、一年生に対して四月中旬に、N-T情報技術推進ネットワークの篠原嘉一さんにお越しいただき、情報リテラシー教育を実施しています。

その講義の中でも、中学生が使っているスマホのアプリの怖さ、原則、年齢制限があり、本来子どもが使えないゲームで子どもが遊んでいること、中学生が被害者にも加害者にもなりうること、実際逮捕されている事例もあること等、色々なお話を聞きました。

私たち大人は知らないけれど、子どもたちは知っているアプリも多くあり、大人が聞いていて恐ろしくなる話がたくさんありました。

一年生の感想には、自分自身で気を付けていこうと書いている生徒が多かったように感じます。

子どもたちが被害者にも加害者にもならないよう、再度ご家庭でスマホの使い方やルールを再確認していただきますよう、お願いいたします。